

平成 20 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
 代表者名 取締役社長 井手 明彦
 (コード番号 5711 東・大証第1部)
 問合せ先 広報・IR 室副室長 鈴木 徹
 (TEL 03-5252-5206)

中期経営計画 (2007-2009 年度) 「Break-through 1000」の
 進捗状況と今後の見通しについて

当社グループでは、昨年 4 月より、中期経営計画 (2007-2009 年度) (以下「Break-through 1000」という) をスタートし、異なるビジネスモデルを持つ 4 コア事業を核とした四輪駆動経営を実践してまいりました。初年度である 2007 年度は、各事業が好調に推移し、連結経常利益は過去最高を達成するなど、当社グループの総力を結集した取り組みが結実致しました。本年度以降も、「進化と変革」を志向し、企業価値向上のための戦略的な投資、各事業の成長ドライバーの強化、拡大により、「Break-through 1000」の達成を目指してまいります。

今般、足許の状況を踏まえ、2009 年度の数値目標を見直しましたので、現在の進捗状況と併せお知らせ致します。

1. 「Break-through 1000」について

「Break-through 1000」では、「本業で勝ち抜く」「職人氣質を大切に」「感動の共有」を経営理念として掲げ、加えて業務全般にわたる「進化と変革」の実現により当社の強みを強化し、1,000 億円超の収益レベルを安定的に計上できる会社を目指すこととしております。

2. 2007-2008 年度の進捗状況

2007 年度は銅価が高水準で推移したことに加え、「自動車、IT、リサイクル」の成長 3 分野での 4 コア事業の伸長もあり、連結経常利益は過去最高益に達しました。

2008 年度は石炭価格の上昇、銅買鉱条件の悪化、米国サブプライム問題に端を発する世界経済減速懸念等の事業環境の悪化は予想されますが、セメント事業では国内価格の値上げ、銅事業では川下の銅加工分野の強化など各事業の持続的成長のための取り組みにより、連結経常利益 1,000 億円の達成を目指します。

(全社目標)

[2007 年 3 月公表目標]

	2007 年度	2008 年度見通し	2009 年度目標
連結経常利益	1,359 億円	1,000 億円	1,000 億円超
ROA (総資産経常利益率)	7.5%	5.3%	5%超
デットエクイティレシオ	1.5 倍	1.5 倍	1.4 倍

3. 今後の見通し

2007年度においては、4コア事業の中長期的な事業成長の布石として米国セメント事業強化のためのロバートソン・レディ・ミックス社の連結子会社化、伸銅2社の完全子会社化と三菱伸銅㈱の新発足、超硬インサート事業基盤強化投資並びに多結晶シリコン1,000トン増産など、各事業の成長ドライバーの拡大、強化のための設備投融資を決定いたしました。中長期的な成長に向けて投資を加速させたことから、「Break-through 1000」3ヶ年の投資総額は2,500億円から4,100億円に増加することになります。これにより、一部の事業においては事業環境の悪化が想定されるものの、連結経常利益1,000億円超の目標に対し1,100億円超の収益レベルを達成する見通しとなりました。一方、デットエクイティレシオについては、大型の投資機会がタイミングを同じくして到来したことにより2009年度目標1.4倍を1.5倍に修正いたしますが、事業ポートフォリオの見直しなどにより、引き続き財務体質の改善に取り組んでまいります。

[2007年3月公表目標]		⇒	[見直し後目標]	
	2009年度目標			2009年度目標修正
連結経常利益	1,000億円超		1,100億円超	
ROA (総資産経常利益率)	5%超		5%超	
デットエクイティレシオ	1.4倍		1.5倍	

以 上